

17/22 朝日

齋浦氏が議員辞職



齋浦健太郎氏

過少記載がようにも略式起訴

自民党の齋浦健太郎衆院議員(50)=千葉5区、当選5回=が21日、細田博之衆院議長あてに議員辞職願を出し、許可された。政治資金パーティーの収入を計4千万円ほど過少記載した疑

いがあり、東京地検特捜部は齋浦氏と秘書ら2人の計3人を政治資金規正法違反(不記載など)の罪で22日にも略式起訴する方針だ。

▼12面=社説、30面=語ら

齋浦氏は自民党に離党届を提出後、A4判1枚の書面で「政治資金収支報告書に誤った記載をした上記とおりで、私にも一定の責任がある。透明性が求

められる政治資金について誤った収支報告書を提出してしまった」とは、国民の政治不信を招きかねないもので心より反省している」とコメントした。

問題となっているのは、齋浦氏が代表、公設第1秘書が会計責任者を務める資金管理団体「新時代政経研

究会」など。齋浦氏は21日に略式起訴の手続きに同意したとみられ、特捜部は公設第1秘書、元政策秘書との共謀を認定し、3人を略式起訴する方針だ。関係者によると、齋浦氏は罰金刑確定に伴う公民権停止の期間(原則5年)が簡裁の判断で短縮されることを狙い、刑事処分を受ける前に辞職したという。

齋浦氏は麻生派所属で、麻生太郎副総裁の側近。安倍内閣で首相補佐官や外務副大臣などを務め、現在は

衆院法務委員会筆頭理事だった。自民党的茂木敏充幹事長は「信頼回復に向けて取り組みを強化していくたい」とコメントを出した。齋浦氏辞職により、すでに欠員が出ている和歌山1区、山口4区と同じ来年4月下旬に千葉5区の補欠選挙も行われる見込みだ。

「政治とかね」をめぐつては岸田稔前総務相が11月に閣僚を辞任。秋葉賢也復興相も疑惑が報じられており、齋浦氏の問題は岸田政権に与らなる痛手となる。